



## &lt;問い合わせ先&gt;

北海道運輸局 観光部 次長 村上

観光企画課 渡延・森・佐々木

TEL : 011-290-2700

令和5年3月30日

北海道運輸局

**北海道における宿泊旅行統計調査をまとめました。****(令和4年10-12月期 (暫定値) )**

・北海道運輸局では、北海道における宿泊旅行者の動向や実態を把握することを目的として、観光庁が実施している「宿泊旅行統計調査」をもとに、北海道における宿泊旅行統計調査をまとめ、あわせて全国との比較をとりまとめております。

・観光庁が実施した調査結果については、以下のURLからご覧下さい。(観光庁HP)

(<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>)

**【令和4年10-12月期 (暫定値) の主な特徴】****[延べ宿泊者数]**

829万人泊。令和3年同期比31.1%増、令和2年同期比47.6%増、令和元年同期比1.1%減。

都道府県別順位では全国第3位。(前年同期 第3位)

**[外国人延べ宿泊者数]**

81万人泊。令和3年同期比5423.3%増、令和2年同期比5334.0%増、令和元年同期比59.5%減。

都道府県別順位では全国第4位。(前年同期 第12位)

**[国籍別外国人延べ宿泊者数順位]**

(括弧内は外国人延べ宿泊者数全体に占める割合)

第1位が韓国 (18.5%)、第2位が香港 (12.9%)、第3位が台湾 (12.8%)。

**[宿泊施設稼働率]**

10月における宿泊施設全体での客室稼働率が全国平均を上回っている。

一方で、10~12月における宿泊施設全体での定員稼働率が全国平均を下回っている。

# 令和4年10-12月期の集計結果

## 1. 延べ宿泊者数

### 【延べ宿泊者数】

全国は1億3,727万人泊、北海道は829万人泊（全国の6.0%）。

### 【延べ宿泊者数の前年等比較】

全国は令和3年同期比26.9%増、令和2年同期比34.6%増、令和元年同期比6.5%減。

北海道は令和3年同期比31.1%増、令和2年同期比47.6%増、令和元年同期比1.1%減。

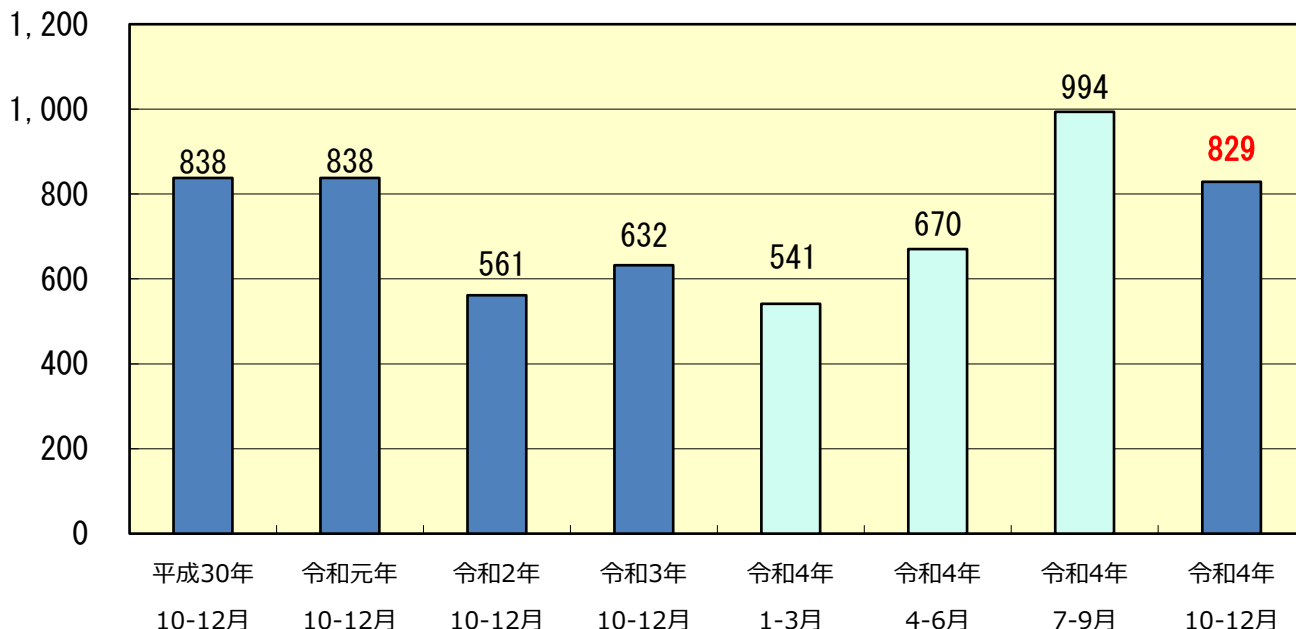
令和4年10～12月期の延べ宿泊者数は、全国及び北海道共に令和3年同期・令和2年同期を上回っている。

### 【都道府県別延べ宿泊者数】

第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は北海道（前年同期 第3位）。

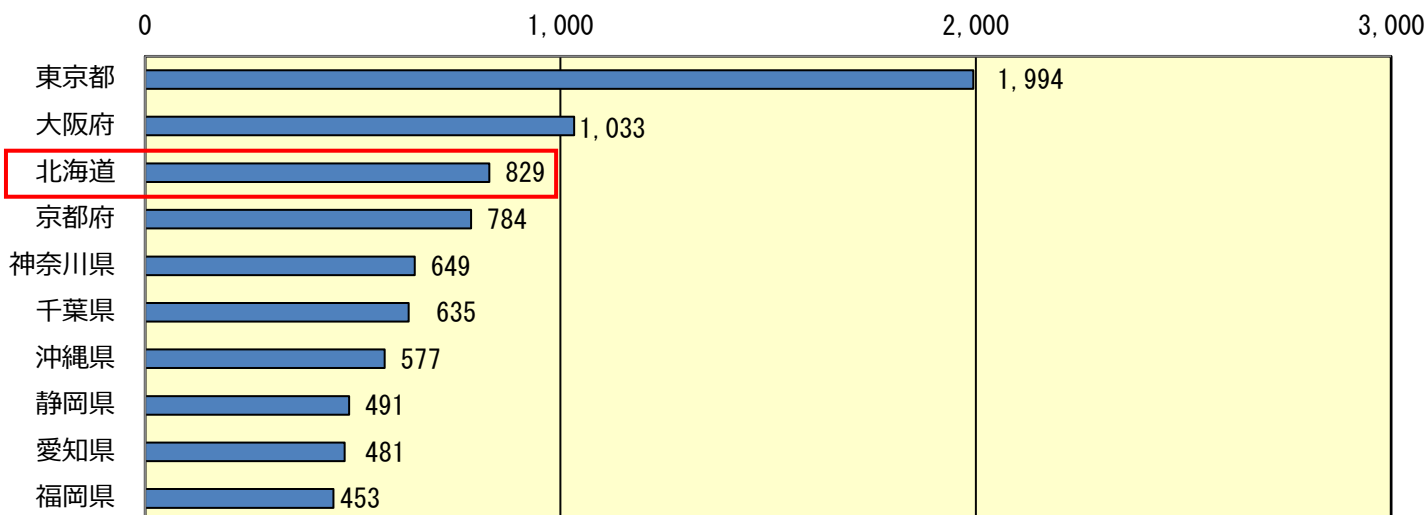
(単位：万人泊)

### 延べ宿泊者数の推移（北海道）



### 都道府県別延べ宿泊者数（上位10位）

(単位：万人泊)



## 2. 外国人延べ宿泊者数

### [外国人延べ宿泊者数]

全国は1,192万人泊、北海道は81万人泊（全国の6.8%）。

### [外国人延べ宿泊者数の前年等比較]

全国は令和3年同期比1121.9%増、令和2年同期比801.3%増、令和元年同期比58.2%減。

北海道は令和3年同期比5423.3%増、令和2年同期比5334.0%増、令和元年同期比59.5%減。

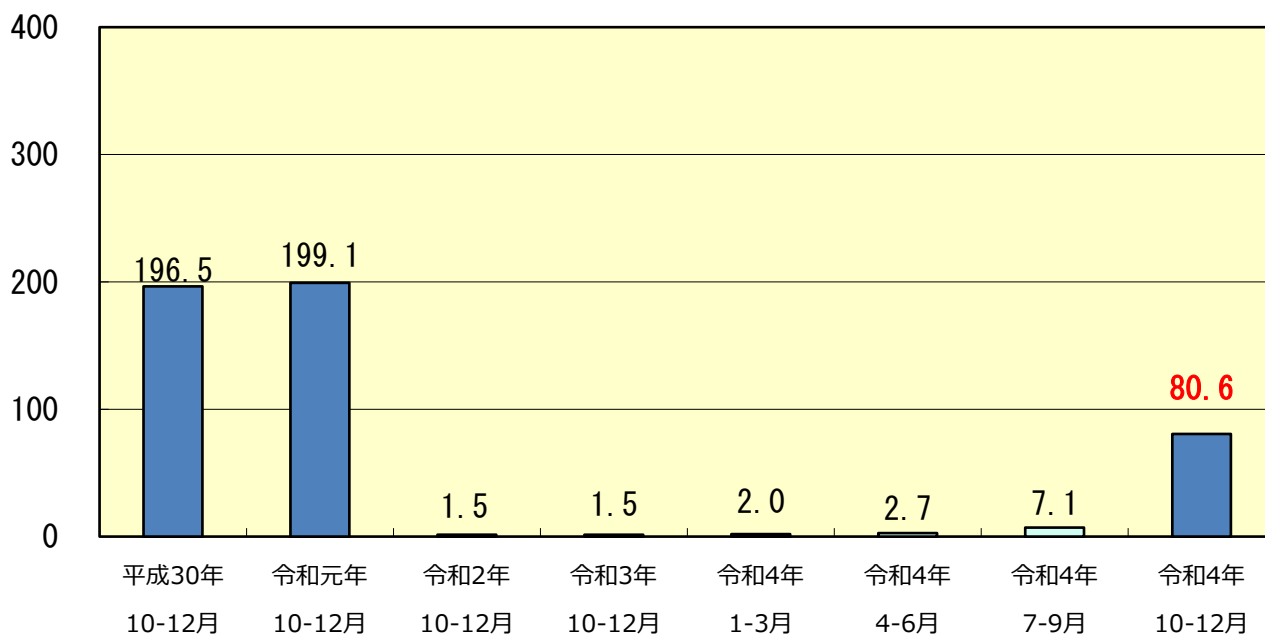
令和4年10～12月期の外国人延べ宿泊者数は、全国及び北海道共に令和3年同期・令和2年同期を上回っている。

### [都道府県別外国人延べ宿泊者数]

第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は京都府、北海道は第4位（前年同期 第12位）。

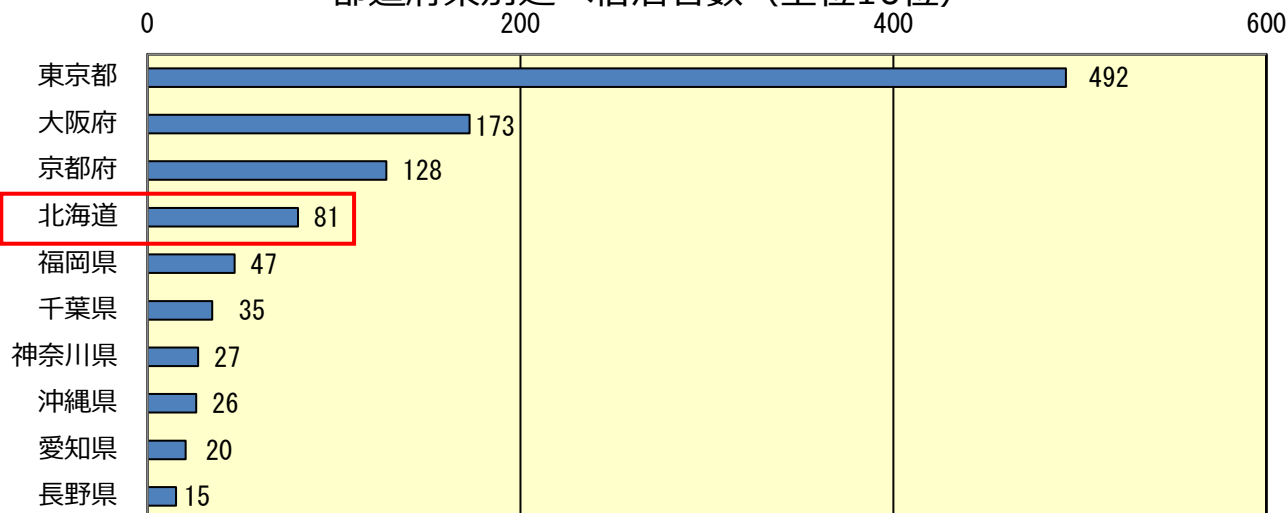
(単位：万人泊)

### 延べ宿泊者数の推移（北海道）



### 都道府県別延べ宿泊者数（上位10位）

(単位：万人泊)

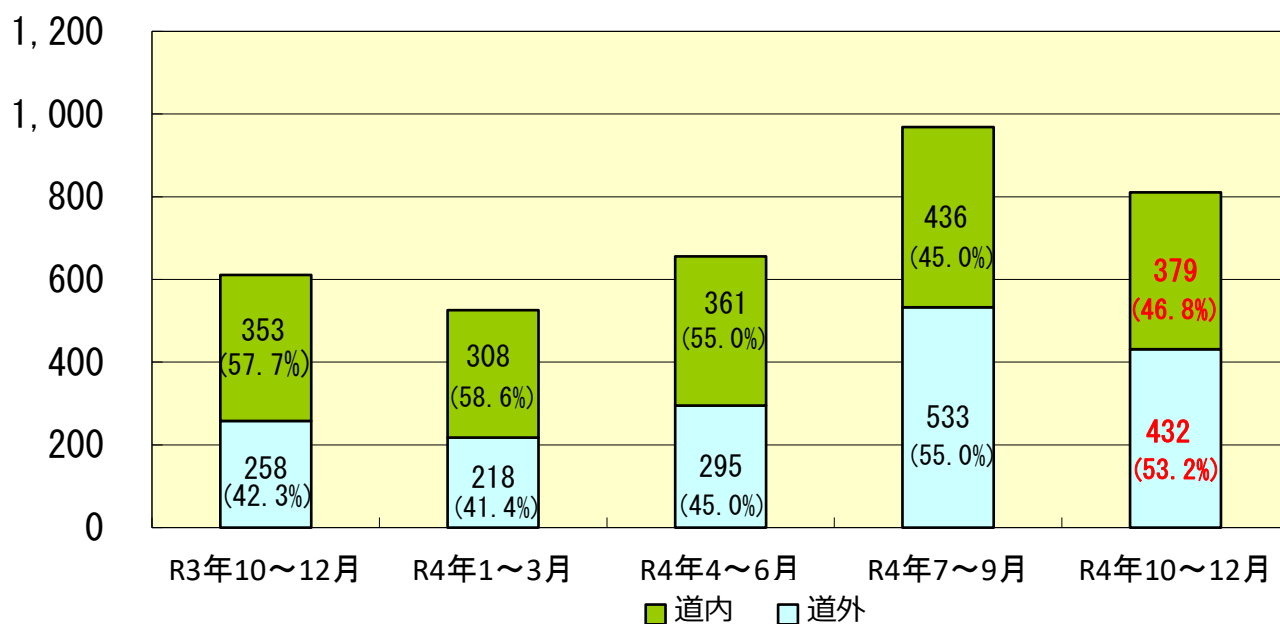


### 3. 道内・道外からの延べ宿泊者数

- ・道内からの延べ宿泊者数は379万人泊、道外（外国人を含む）からの延べ宿泊者数は432万人泊。
- ・道内及び道外の延べ宿泊者数の割合は、道内46.8%、道外53.2%となっている。
- ・前年同期と比べて、道内からの延べ宿泊者数が7.5%増、道外からの延べ宿泊者数が67.1%増となった。

#### 道内、道外からの延べ宿泊者数の推移

(単位：万人泊)

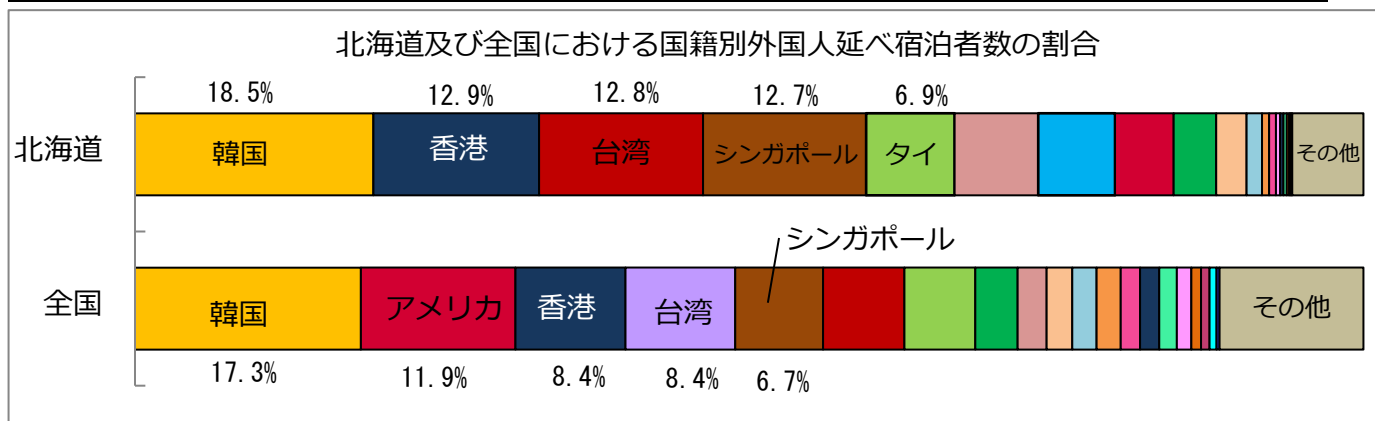


注：グラフの数値は居住地不詳者を除いているため、延べ宿泊者数の合計の数値と一致しない。

#### 4. 北海道における国籍別延べ宿泊者数

- ・北海道における国籍別延べ宿泊者数は、令和4年10～12月では720,710人（令和元年同期比60.8%減）となっている。
- ・北海道における国籍別延べ宿泊者数の第1位が韓国、第2位が香港、第3位が台湾となっている。

順位	国籍	北海道		全国	令和3年 同期比	令和2年 同期比	令和元年 同期比
		(人泊)	シェア	シェア			
1	韓国	133,680	18.5%	17.3%	41675.0%	66740.0%	128.3%
2	香港	92,890	12.9%	8.4%	19663.8%	14414.1%	-54.6%
3	台湾	91,930	12.8%	8.4%	36672.0%	23471.8%	-71.8%
4	シンガポール	91,450	12.7%	6.7%	114212.5%	101511.1%	-43.6%
5	タイ	49,590	6.9%	5.4%	24695.0%	21460.9%	-71.4%
6	マレーシア	46,890	6.5%	2.2%	38975.0%	38975.0%	-50.9%
7	中国	43,060	6.0%	6.2%	2292.2%	4163.4%	-91.8%
8	アメリカ	32,870	4.6%	11.9%	1503.4%	2007.1%	-19.2%
9	オーストラリア	23,850	3.3%	3.2%	21581.8%	11257.1%	-27.9%
10	インドネシア	17,030	2.4%	2.0%	13000.0%	8009.5%	-65.2%
11	フィリピン	8,660	1.2%	1.9%	3364.0%	6561.5%	-70.9%
12	イギリス	3,980	0.6%	1.9%	3216.7%	5585.7%	-51.3%
13	カナダ	3,830	0.5%	1.5%	3730.0%	4155.6%	-40.3%
14	ベトナム	2,370	0.3%	1.1%	374.0%	464.3%	-38.9%
15	フランス	1,860	0.3%	1.5%	3620.0%	1966.7%	-32.9%
16	ドイツ	1,840	0.3%	1.4%	2200.0%	2200.0%	-51.3%
17	インド	1,340	0.2%	0.7%	2133.3%	930.8%	-47.0%
18	イタリア	680	0.1%	0.7%	3300.0%		-20.0%
19	ロシア	600	0.1%	0.2%	1100.0%	757.1%	-91.9%
20	スペイン	450	0.1%	0.5%			-55.0%
	国籍不詳	31,950	4.4%	5.7%	10550.0%	18694.1%	159.5%
	その他	39,910	5.5%	11.0%	2813.1%	1305.3%	-56.9%
	合計	720,710	100.0%	100.0%	8449.3%	8136.7%	-60.8%

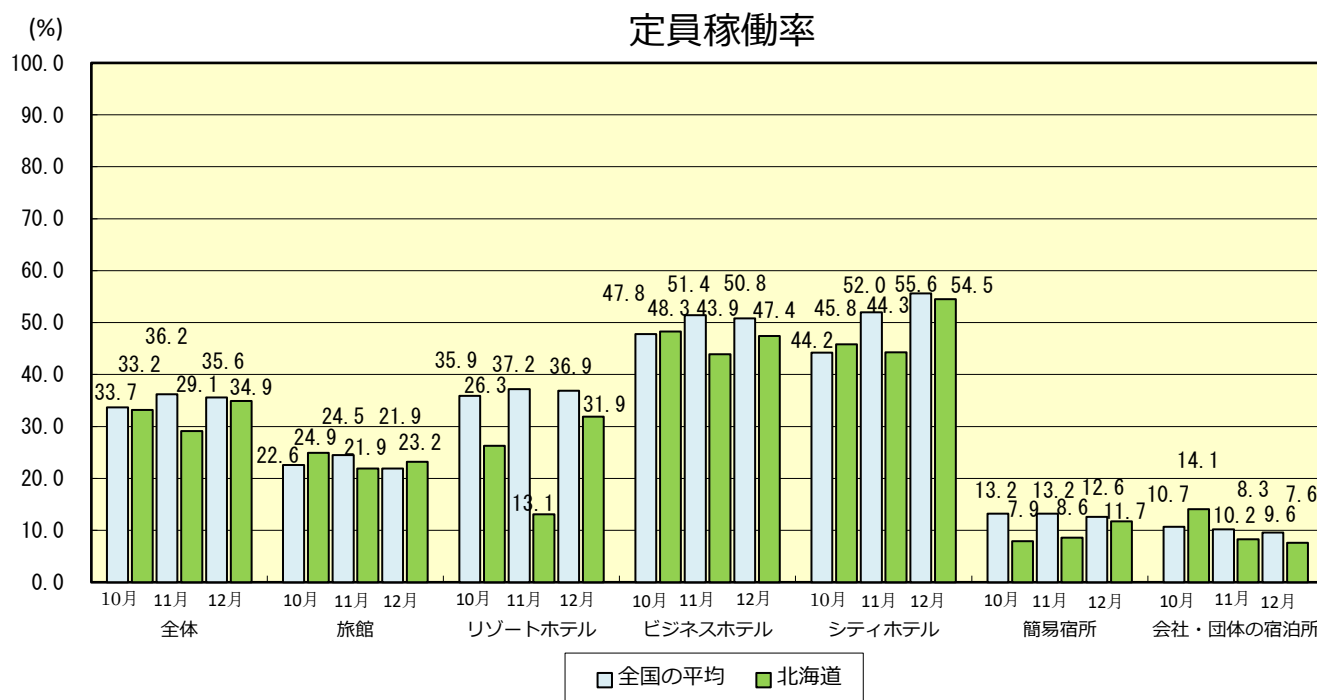


※国籍別に関する項目については、従業者数10人以上の施設に対する調査から集計している。

## 5. 定員稼働率及び客室稼働率

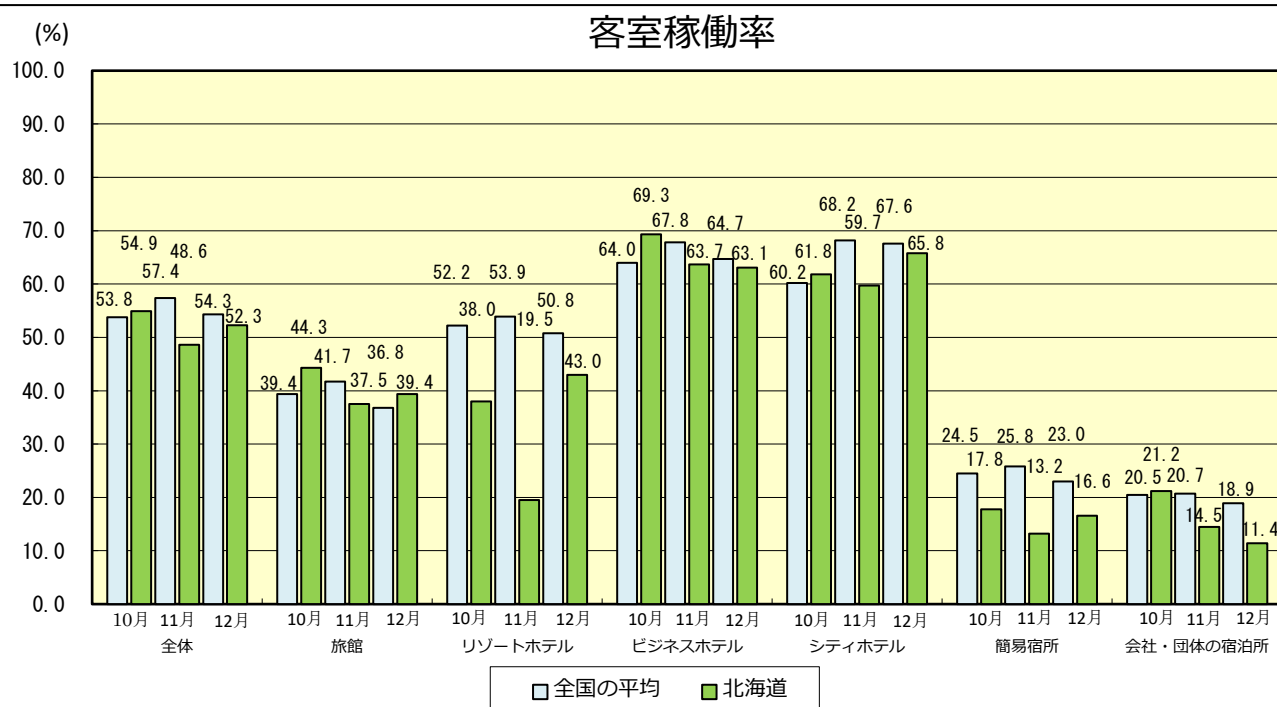
### 【定員稼働率】

- ・北海道の定員稼働率（全体）は、10～12月において全国平均を下回っている。
- ・施設タイプ別では、10月のビジネスホテルとシティホテル、10月および12月の旅館の定員稼働率が全国平均を上回っている一方で、11月は全ての施設タイプにおいて定員稼働率が全国平均を下回っている。



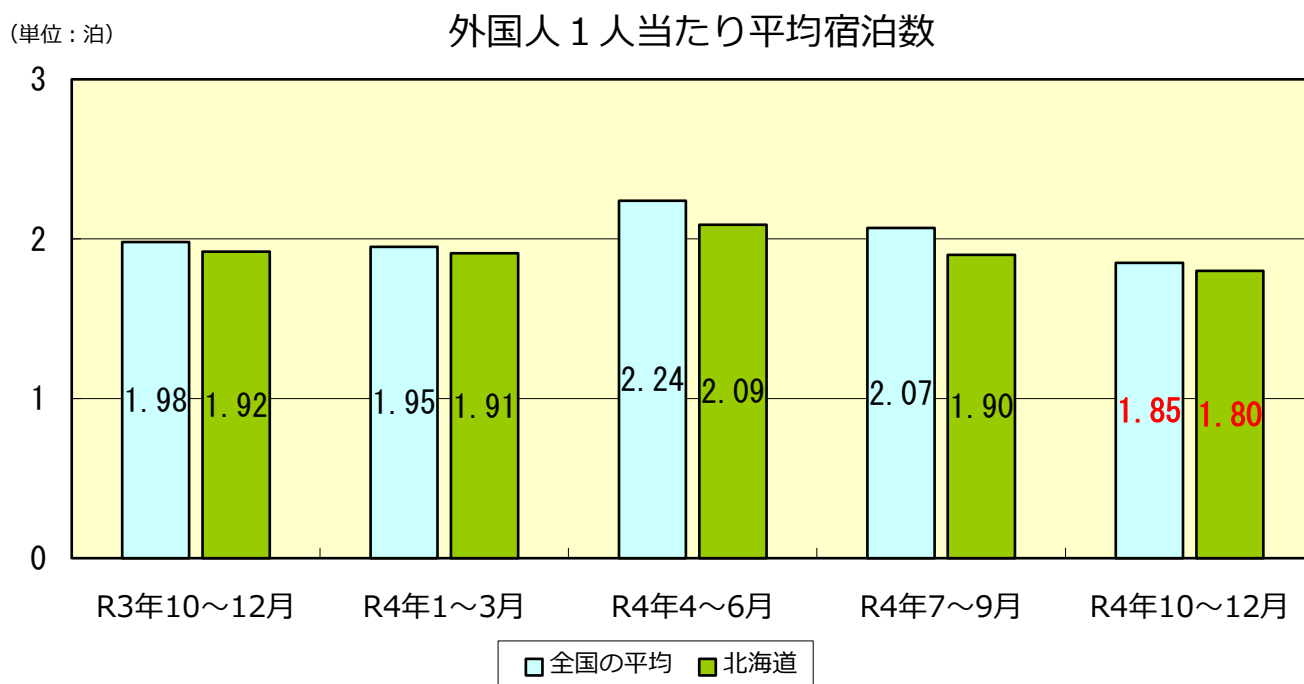
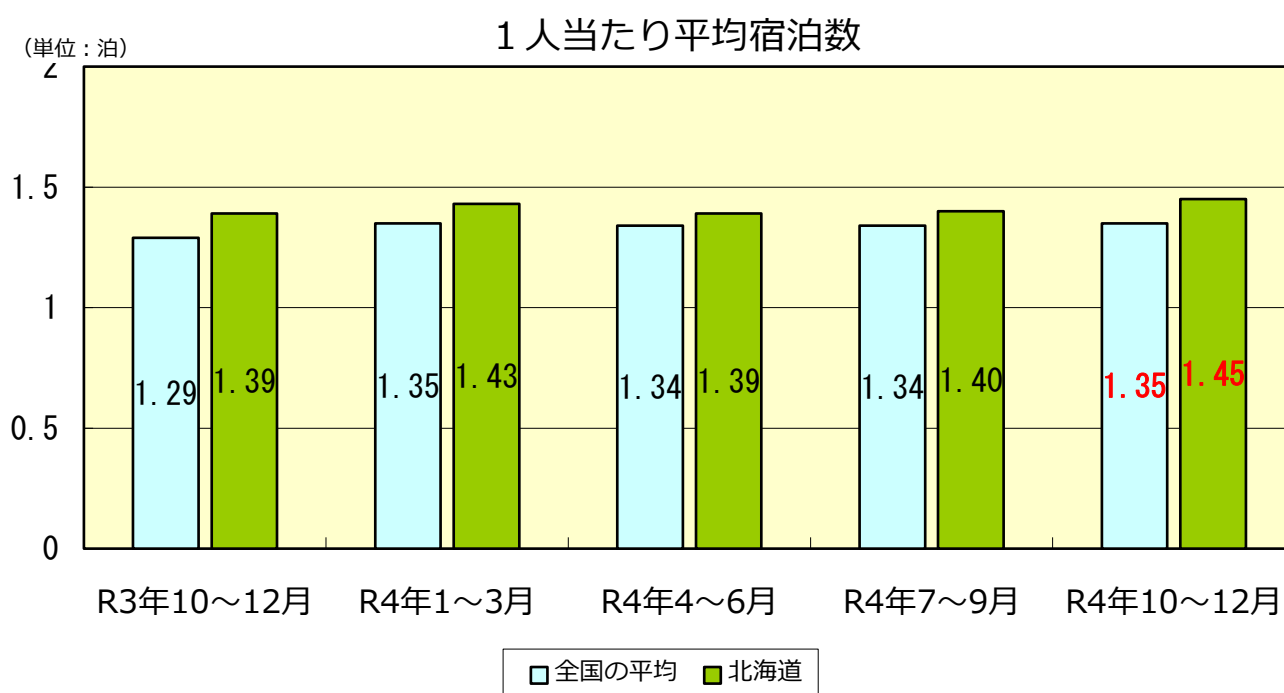
### 【客室稼働率】

- ・北海道の客室稼働率（全体）は、10月において全国平均を上回っている。
- ・施設タイプ別では、10月のビジネスホテルとシティホテル、10月および12月の旅館の客室稼働率が全国平均を上回っている一方で、11月は全ての施設タイプにおいて客室稼働率が全国平均を下回っている。



## 6. 同一施設における1人当たり平均宿泊数

- ・同一施設における1人当たり平均宿泊数は、全国平均1.35泊、北海道1.45泊となった。  
前年同期と比較すると全国は0.06ポイント増加、北海道は0.06ポイント増加となった。
- ・同一施設における外国人1人当たり平均宿泊数は、全国平均1.85泊、北海道1.80泊となった。  
前年同期と比較すると、全国は0.13ポイント減少、北海道は0.12ポイント減少する結果となった。



# 宿泊旅行統計調査の活用における留意点

平成22年第2四半期(4~6月調査)から、従業員数10人未満の施設も調査対象となりました。

調査結果をご活用の際はご注意ください。

## ● 遡及推計(確定値)とは

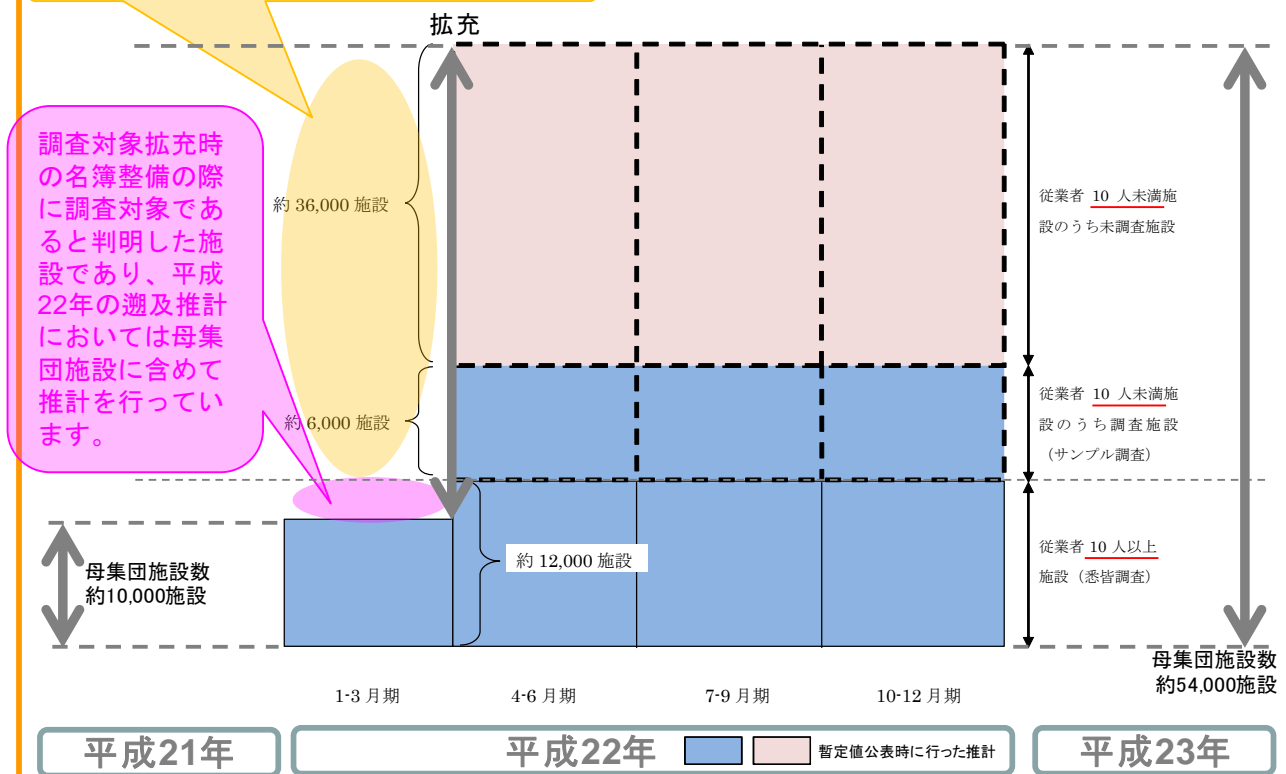
・1月1日現在の施設数を母集団施設数として1年間固定させ推計を行う四半期毎公表の暫定値とは違い、月毎の開業・廃業等を反映させた月毎の母集団施設数を基に推計を行ったものが遡及推計(確定値)です。

## ● 平成22年遡及推計の特徴

・平成22年第2四半期調査より調査対象を拡充しており、基本とする母集団施設数は拡充後の第2四半期のものです。また、第1四半期には調査対象外であった従業員数10人未満の宿泊施設等についての数値は一部参考値以外は推計を行っていません。経年比較等する場合には、従業員区分等にご注意下さい。

## 遡及推計概要図

遡及推計においても推計を行っていません。



## 調査対象拡充の概要

### 1. 平成22年第1四半期以前の調査

(1) 調査対象施設: 平成16年度事業所・企業データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国の従業員数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所の宿泊施設

(2) 集計結果: 全国の従業員数10人以上の宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

### 2. 平成22年第2四半期以降の調査

(1) 調査対象施設: 統計法第27条に規定する事業所母集団データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの宿泊施設

調査施設については、従業員数に応じて以下のとおり

- 従業員数10以上の事業所 : 全数(悉皆)調査
- 従業員数5人~9人の事業所 : 1/3を無作為に抽出してサンプル調査
- 従業員数0人~4人の事業所 : 1/9を無作為に抽出してサンプル調査

(2) 集計結果: 全国のすべての宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値